

「患者さんを笑顔にするテレロボット医療現場 DX」アンケート集計結果
(n=18名 参加者数106名,回収率17.0%)

1. 回答者の属性

- ・看護職(看護教員含む): 8名
- ・看護学生(大学院生含む): 5名
- ・大学教職員(大学事務含む): 3名
- ・市議会議員: 1名

2. 講演会を知ったきっかけ

- ・ポスターを見て: 5件
- ・先生から聞いた: 4件
- ・メールで情報が届いた: 3件
- ・知人から聞いた: 2件
- ・大学のホームページを見て: 1件
- ・学内の案内: 1件
- ・市の広報誌: 1件

3. 講演内容への評価

- ・非常に興味がある: 13名
- ・まあ、興味がある: 4名
- ・ふつう: 1名

4. Web参加設定の要望

- ・どちらでも良い: 12名
- ・できるだけweb参加を設定したほうが良い: 4名
- ・web参加を設定しなくても良い: 2名

5. 自由記述(感想・要望)

<教育・学習面>

- ・大学教育にも役立つロボットだと思いました。
- ・テレロボットの医療現場DXに果たす役割、実際について学べた。
- ・いろんな視点での看護について聞きたい。
- ・現場導入への期待(コロナ禍の経験より)
- ・コロナ流行下の入院制限で、家族が苦しんでいる時にそばで応援すらできない辛さを経験した。今後テレロボットの知名度が上がり、各病院で導入されれば、会えない環境でも気持ちが通じ合えて救われると思う。

<市立敦賀病院での声>

- ・100言語以上に翻訳できること
- ・放射線被ばくが問題にならないこと
- ・さばらないこと
- ・人件費より安いこと

<その他>

ありがとうございました!